



令和6年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和5年10月2日

上場会社名 ファーマライズホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2796 URL http://www.pharmarise.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秋山 昌之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 沼田 豊 (TEL) 03-3362-7130
 四半期報告書提出予定日 令和5年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年5月期第1四半期の連結業績(令和5年6月1日~令和5年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年5月期第1四半期	13,471	4.7	331	△5.0	331	△2.8	123	11.2
5年5月期第1四半期	12,861	△1.5	348	9.7	341	1.8	111	75.0

(注) 包括利益 6年5月期第1四半期 127百万円(10.8%) 5年5月期第1四半期 114百万円(83.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年5月期第1四半期	13.11	9.93
5年5月期第1四半期	11.88	8.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年5月期第1四半期	23,553	6,983	28.3
5年5月期	23,421	6,987	28.5

(参考) 自己資本 6年5月期第1四半期 6,664百万円 5年5月期 6,673百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年5月期	—	0.00	—	14.00	14.00
6年5月期	—	—	—	—	—
6年5月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 令和6年5月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 14円00銭 記念配当(創業40周年記念配当) 6円00銭

3. 令和6年5月期の連結業績予想(令和5年6月1日~令和6年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	26,557	3.2	833	45.4	803	41.9	262	260.8	26.92
通期	53,546	2.9	1,477	2.7	1,423	△0.6	449	34.9	46.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

6年5月期1Q	9,746,645株	5年5月期	9,746,645株
6年5月期1Q	321,100株	5年5月期	321,100株
6年5月期1Q	9,425,545株	5年5月期1Q	9,352,685株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(令和5年6月1日～令和5年8月31日)におけるわが国経済は、景気は緩やかに回復しております。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな回復が続くことが期待されております。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況です。

こうしたなか、当社グループは令和3年12月24日に「中期経営計画LSG(Leading to Sustainable Growth)2024」を公表し、株主価値の更なる向上を目指し、競争力を強化し成長していくため、①投資家を選ばれる会社になるための取組み強化、②調剤事業を核とした事業展開による収益獲得強化、③経営基盤の更なる強化による収益構造の改善、を推進しております。経営環境変化などから、定量目標について見直しをすることといたしましたが、基本方針や定性目標については、現行の内容から変更はございません。

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高13,471百万円(前年同期比4.7%増)、営業利益331百万円(前年同期比4.9%減)、経常利益331百万円(前年同期比2.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は123百万円(前年同期比10.8%増)となりました。

セグメントごとの業績は次の通りであります。

(調剤薬局事業)

当第1四半期連結累計期間における調剤薬局事業の業績は、M&Aや新規出店効果に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による受診抑制の緩和を主な要因とした処方せん枚数の回復傾向が前期の下期以降より鮮明となってきたことや調剤技術料の算定増加等により売上高は10,898百万円(前年同期比4.9%増)と増収になりました。利益面においては、仕入環境の変化による影響を処方せん枚数の増加や処方せん単価の増加、調剤技術料収入の拡大による増益要因でカバーしきれずセグメント利益は379百万円(前年同期比4.8%減)と減益になりました。同期間における調剤薬局店舗は2店舗増加、1店舗減少で、当社グループが運営する店舗数は301店舗となりました。増加した店舗は、ファーマライズ株式会社の新規開局の2店舗(茨城県及び神奈川県)であります。

薬局運営面につきましては、①超高齢社会に対応すべく医療・介護・ヘルスケアを推進し、かかりつけ薬局として地域医療に貢献するという使命を追求、②当社独自の認定資格ヘルシーライフアドバイザーによる「からだ・こころ・くらしのウェルネス」をテーマに国民の健康維持・増進活動を支援、③業務のセンター化による効率化とDX化によるオンライン指導推進、に取り組んでおります。

なお健康サポート薬局は当第1四半期連結期間末時点で81店舗(前年度末比1店舗減)となり、地域連携薬局は118店舗(前年度末比1店舗増)となりました。また、専門医療機関連携薬局につきましては、1店舗の認定を取得いたしました。

(物販事業)

当第1四半期連結累計期間における物販事業の業績は、コンビニエンスストア部門におけるコロナ影響の緩和による経済活動の回復を背景とした売上高の伸長を主な要因として、売上高は2,104百万円(前年同期比6.7%増)、セグメント損失は9百万円(前年同期はセグメント損失35百万円)となりました。同期間における調剤を併設しない本セグメントの当社グループが運営する店舗数は46店舗であります。

(医学資料保管・管理事業)

当第1四半期連結累計期間における医学資料保管・管理事業の業績は、主に医療機関における経費削減の動きから紙カルテ等の保管年数短縮化の影響を受け、売上高は155百万円(前年同期比8.2%減)、セグメント利益は11百万円(前年同期比45.0%減)となりました。一方で紙カルテ等の保管・管理のニーズは継続的に発生していることから、それらの獲得と新たなサービス提供に向けた営業活動を展開しております。

(医療モール経営事業)

当第1四半期連結累計期間における医療モール経営事業の業績は、売上高は126百万円(前年同期比0.1%減)、セグメント利益は減価償却費が減少したことで27百万円(前年同期比42.1%増)となり、安定的に推移しております。

(その他)

当第1四半期連結累計期間におけるその他事業の業績は、有料職業紹介事業が前期の同期間において好調だった反動により売上高は185百万円(前年同期比9.3%減)となりました。また、これに加え、医薬品の卸売取引の減少、

医療関連ITソリューション事業等が減益となったことなどによりセグメント利益は0百万円（前年同期95.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は23,553百万円（前連結会計年度末比132百万円増）となりました。主な要因は、未収入金が2,688百万円（前連結会計年度末比724百万円減）となった一方で、商品及び製品が3,013百万円（前連結会計年度末比788百万円増）となったことによるものであります。

（負債）

負債の残高は16,570百万円（前連結会計年度末比136百万円増）となりました。主な要因は、その他（流動負債）が1,153百万円（前連結会計年度末比538百万円減）となった一方で、買掛金が4,919百万円（前連結会計年度末比667百万円増）となったことによるものであります。

（純資産）

純資産の残高は6,983百万円（前連結会計年度末比4百万円減）となりました。この主な要因は、利益剰余金が配当金の支払により減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和5年7月11日付の決算短信で公表いたしました令和6年5月期の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,742	4,877
売掛金	611	580
商品及び製品	2,225	3,013
原材料及び貯蔵品	65	75
未収入金	3,412	2,688
その他	320	303
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	11,372	11,532
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,902	2,893
土地	2,587	2,587
その他（純額）	519	573
有形固定資産合計	6,010	6,054
無形固定資産		
のれん	2,748	2,612
その他	502	526
無形固定資産合計	3,250	3,138
投資その他の資産		
その他	2,940	3,001
貸倒引当金	△152	△173
投資その他の資産合計	2,787	2,828
固定資産合計	12,048	12,020
繰延資産	0	0
資産合計	23,421	23,553

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,252	4,919
1年内償還予定の社債	1,482	1,482
1年内返済予定の長期借入金	2,008	1,826
未払法人税等	333	185
賞与引当金	45	273
店舗閉鎖損失引当金	21	20
その他	1,691	1,153
流動負債合計	9,835	9,861
固定負債		
長期借入金	5,216	5,327
退職給付に係る負債	791	807
資産除去債務	111	112
その他	478	461
固定負債合計	6,598	6,709
負債合計	16,433	16,570
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,298	1,298
資本剰余金	1,553	1,553
利益剰余金	4,014	4,005
自己株式	△210	△210
株主資本合計	6,655	6,647
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
退職給付に係る調整累計額	18	18
その他の包括利益累計額合計	17	17
新株予約権	208	208
非支配株主持分	105	109
純資産合計	6,987	6,983
負債純資産合計	23,421	23,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年6月1日 至 令和4年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年6月1日 至 令和5年8月31日)
売上高	12,861	13,471
売上原価	10,763	11,341
売上総利益	2,098	2,130
販売費及び一般管理費	1,749	1,799
営業利益	348	331
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取手数料	5	6
受取賃貸料	3	4
その他	5	6
営業外収益合計	16	18
営業外費用		
支払利息	14	13
賃貸原価	2	2
その他	6	1
営業外費用合計	23	17
経常利益	341	331
特別利益		
補助金収入	5	16
特別利益合計	5	16
特別損失		
固定資産売却損	2	—
固定資産除却損	21	0
固定資産圧縮損	5	13
貸倒引当金繰入額	—	22
特別損失合計	28	35
税金等調整前四半期純利益	318	312
法人税等	203	185
四半期純利益	114	127
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	111	123

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年6月1日 至 令和4年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年6月1日 至 令和5年8月31日)
四半期純利益	114	127
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	△0	△0
四半期包括利益	114	127
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	110	123
非支配株主に係る四半期包括利益	3	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 令和4年6月1日 至 令和4年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	調剤薬局 事業	物販事業	医学資料 保管・ 管理事業	医療 モール 経営事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	10,388	1,972	169	126	12,656	204	12,861	—	12,861
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	10,388	1,972	169	126	12,656	204	12,861	—	12,861
セグメント利益又は損失 (△)	398	△35	20	19	402	21	424	△75	348

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない人材派遣事業、製薬企業等向けのシステムインテグレーション事業等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△75百万円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 令和5年6月1日 至 令和5年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	調剤薬局 事業	物販事業	医学資料 保管・ 管理事業	医療 モール 経営事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	10,898	2,104	155	126	13,285	185	13,471	—	13,471
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	10,898	2,104	155	126	13,285	185	13,471	—	13,471
セグメント利益又は損失 (△)	379	△9	11	27	408	0	409	△78	331

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない人材派遣事業、製薬企業等向けのシステムインテグレーション事業等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△78百万円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。